

こんなことを
話し合い
決めました

平成31年第1回定例会は、2月25日(月)から3月25日(月)までの29日間の会期で行いました。

条例の改正や当初予算などの議案等が提出され、慎重審議の結果、すべて原案どおり可決しました。

今号では、この中から4件を詳しく紹介します。

今回の議案等は61件

※議案等一覧は5ページに掲載。

- 報告 …………… 2件
- 条例 …………… 11件
- その他 …………… 18件
- 予算 …………… 14件
- 人事 …………… 13件
- 議員提出 ……… 3件



天草市議会

TOPIC
01

宮地岳観光交流施設について

一般会計当初予算への附帯決議を可決

宮地岳観光交流施設整備事業を含む一般会計予算を可決

総額547億9,843万6千円となった平成31年度天草市一般会計予算は、3月11日から14日までの4日間にわたる予算決算委員会及び本会議で審査を行い、原案のとおり可決しました。 ※宮地岳観光交流施設整備事業以外の当初予算の主な事業につきましては、6〜7ページでご紹介します。



宮地岳地区に道の駅の機能を持つ観光拠点施設を整備へ

宮地岳観光交流施設については、平成29年5月に地元関係者で組織される建設推進協議会が設立され、これまで協議が重ねられてきましたが、今年度の当初予算に2億7,940万円が計上され、いよいよ建設に向け動き出すこととなりました。

施設の概要

廃校となった旧宮地岳小学校校舎を改修し、トイレや駐車場など道の駅の機能をもつ施設の整備が行われます。 ・施設の内容 駐車場、24時間トイレ、情報休憩施設、物産館(特産品販売、レストラン、かかし展示室等)、多目的広場等 ※令和2年4月オープン予定。

予算決算委員会、本会議において附帯決議を可決

議会においては、予算決算委員会で施設についての説明を受け審査を行いました。この中で示された収支計画や継続可能な運営主体の組織など、不安が残る内容であったことから、同協議会との協議を綿密に行い、地元住民の不安を払拭したうえで、事業を執行すること、また議会への報告を行い、情報の共有を図ることを求める附帯決議を全会一致で可決しました。

また、3月25日の本会議最終日においても、同内容の附帯決議を全会一致で可決しました。 ※附帯決議の概要は下のとおりです。

平成31年度天草市一般会計予算に対する附帯決議(概要)

建設経済常任委員会において、本年1月29日に(仮称)宮地岳観光交流施設建設推進協議会と意見交換を行った。

その所感として、同協議会では、地域振興のために建設推進の熱意は強く感じられたが、運営主体については不透明で、不安を感じておられたため、3月8日に同協議会とあらためて意見交換を行ったが、その際には、地元で出資を募ったうえで会社を設立し、運営を行っていくとの意思を固められていることであった。

しかしながら、予算決算委員会において、執行部から受けた運営費の収支計画等の説明では、売上高の見込みなど、不透明な部分があり、不安が残る内容であった。

地元中心の運営主体が、今後数十年にわたり運営していく以上、地元住民に負担を強いられることのない、自立できる組織にしていくことが必要不可欠である。

市においては、運営主体を組織するにあたっては、持続可能な組織となるよう、経営などの専門的知識を有する者の助言を得るなど、同協議会との協議を綿密に行い、地元住民の不安を払拭したうえで、事業を執行するとともに、協議結果及び進捗状況については、その都度議会への報告を行い、情報の共有を図ることを求める。



施設外観イメージ図